

令和5年度「みやぎきの教育に関する調査」集計結果の概要について

令和6年3月31日

教育庁教育政策課

1 調査目的

「宮崎県教育振興基本計画」の推進に関して、県教育委員会の施策及びその推進の在り方の改善を図るために、学校、家庭、地域、児童・生徒、教職員の現状や意識を把握する。

2 調査について

(1) 調査対象等

調査種類	調査対象	回答者数
学校向け	全ての市町村立幼稚園、小・中学校及び、義務教育学校・県立中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校	408校
家庭向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の保護者（1校あたり3名程度）	1,415名
地域向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の地域住民（1校あたり3名程度） ※県立中学校は附属する高等学校に含む	1,194名
児童・生徒向け (抽出調査)	抽出校（71校）の小学校5年生・特別支援学校小学部5年生（1校あたり1クラス）	1,450名
	抽出校（54校）の中学生2年生・特別支援学校中等部2年生（1校あたり1クラス）	1,280名
	抽出校（40校）の高等学校2年生・特別支援学校高等部2年生（1校あたり1クラス）	1,123名
教職員向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の教職員 （1校あたり4名程度）	1,291名

(2) 調査方法

オンライン調査（調査対象へ各学校を通して調査URLを送付し実施）

(3) 調査期間

令和5年12月6日～令和6年1月26日

3 調査結果概要

(1) 学校向け調査について

問4 学校の活動において、地域人材の活用を行っていると感じた学校が99.0%（令和4年度97.3%）と、高まりが見られ、感染症の状況から活用を控えた学校も0%（令和4年度1.0%）であった。

問16 特別支援教育に係る校内研修を年3回以上実施している学校の割合が64.0%（令和4年度62.0%）となり、年々増加している状況（令和2年度54.8%）である。

問19 校種の異なる学校間の連携した取組について実施していると答えた学校が96.3%（令和4年度86.2%）で、感染症の状況から取組を控えた学校も0.5%（令和4年度6.3%）となり、コロナ禍以前の水準（平成30年度96.4%）に戻ってきた。

(2) 家庭向け調査について

問 12 家庭が担うべき役割として回答された割合が上位の項目

※ 複数回答。()内は令和4年度

項 目	割 合
基本的なルールやマナーを身に付けること	94.1% (95.5%)
あいさつ、言葉づかい、礼節など日常生活習慣を身に付けること	93.0% (93.8%)
やさしさや思いやりの心の育成	87.5% (89.0%)

問 16 これからの宮崎県の教育で重点的に取り組んだ方がよいと思う事項を回答された割合が上位の項目

※ 複数回答。()内は令和4年度

項 目	割 合
いのちを大切にす教育の充実について	76.3% (76.8%)
学力の向上について	71.9% (75.2%)
体力の向上について	64.9% (66.4%)

(3) 地域向け調査について

問 5 家庭教育は保護者がその役割を果たすとともに、地域住民や学校等にも家庭教育を支える役割があることを知っていますかの問いに、「知っている」と答えた割合が86.1%（令和4年度85.8%）であった。

問 6 あなたの住む地域では、子供たちが地域の行事に積極的に参加していますかの問いに、「参加している」「ある程度参加している」と答えた割合が93.1%（令和4年度92.4%）であり、コロナ禍であった令和2年度の状況（87.6%）と比較して高まりが見られた。

(4) 児童・生徒向け調査について

問 3 自分にはよいところがあると思うかの問いに、「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合が、年々高まってきている傾向が見られる。

調査対象	令和5年度	令和4年度	令和3年度
小学校・小学部5年生	86.3%	80.2%	78.8%
中学校・中等部2年生	85.3%	79.2%	76.5%
高等学校・高等部2年生	87.3%	79.4%	81.1%

問 11 将来の夢や目標を持って自分の職業や生き方について考えているかの問いに、「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合は、ここ数年、横ばいの状況である。

調査対象	令和5年度	令和4年度	令和3年度
小学校・小学部5年生	88.1%	86.1%	86.1%
中学校・中等部2年生	78.6%	78.6%	79.5%
高等学校・高等部2年生	83.5%	84.3%	85.3%

(5) 教職員向け調査について

問 4 研修など自己研鑽をとおして、子供たちの授業への満足感を高めるための授業改善を行っているかの問いに、「積極的に行っている」と答えた割合が28.9%（令和4年度23.9%）であり、高まりが見られた。

問 7 時間管理や健康管理を意識して仕事を行うことができているかの問いに、「できている」「ある程度できている」と答えた割合が77.1%（令和4年度73.8%）であり、調査開始した令和元年度の状況（67.0%）と比較して、年々増加している。